

**早稲田大学大学院
環境・エネルギー研究科**

外国人特別選考入学試験要項

**修士課程・博士後期課程
海外協定校からの入学希望者対象**

<2017年9月・2018年4月入学>

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

目次

外国人特別選考入学試験要項： 修士課程・博士後期課程 海外協定校からの入学希望者対象

出願要領	1
1. 募集人員.....	1
2. 募集研究指導と授与学位.....	1
3. 入学の時期.....	1
4. 出願資格.....	2
5. 出願期間.....	2
6. 出願書類.....	2
7. 出願方法.....	4
8. 入学検定料.....	4
9. 入学検定料の納入.....	4
10. 出願書類および入学検定料の返還について.....	5
受験要領	5
1. 選考方法.....	5
合格者発表	6
入学手続要領	6
1. 入学手続期間.....	6
2. 入学辞退にともなう学費返還.....	6
3. 学費・諸会費等.....	7
在留資格「留学」の取得について	8
[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度].....	11
研究指導および担当教員	13

添付資料

- ・ 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

- ・本要項における外国人特別選考入学試験は、早稲田大学の海外協定校卒業見込みの方のみが出願することができます。
- ・外国人特別選考制度入学試験は、2017年9月および2018年4月入学志願者に対し、**2回実施**します。
- ・志願者は、2回の試験のうち、**1回のみ出願**することができます。
- ・それぞれの出願日程・試験日程が異なります。日程を間違わないよう注意してください。
- ・出願前に必ず当研究科入試係に出願する旨をメールで連絡してください。

E-mail: weee-ent@list.waseda.jp

出願要領

1. 募集人員

若干名

2. 募集研究指導と授与学位

【修士課程】

研究指導	指導教員	授与学位
環境政策科学研究	教授 吉田 徳久	学術
環境・新エネルギー研究	教授 勝田 正文	工学・学術
環境調和システム機器研究	教授 関谷 弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授 友成 真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授 中西 要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 小野田 弘士	工学・学術
環境・エンジン制御研究	客員教授 福間 隆雄	工学

【博士後期課程】

研究指導	指導教員	授与学位
環境調和システム機器研究	教授 関谷 弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授 友成 真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授 中西 要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 小野田 弘士	工学・学術

3. 入学の時期

2017年9月 または 2018年4月

4. 出願資格

【修士課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

(1) 制度上の資格

・早稲田大学の海外協定校に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

(2) 学歴上の資格

次の①または②および③の条件に該当する者を対象とします。ただし、2017年9月入学志望の者は2017年9月20日まで、2018年4月入学の者は2018年3月末日までの見込者も含みます。

①外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および修了見込みの者。

②大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。

③日本語能力試験1級またはN1以上の語学能力を証明できる者。

【博士後期課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

(1) 制度上の資格

・早稲田大学の海外協定校の修士課程に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

(2) 学歴上の資格

次の条件に該当する者を対象とします。ただし、2017年9月入学志望の者は2017年9月20日まで、2018年4月入学の者は2018年3月末日までの見込者としてします。

・修士の学位を得た者またはこれに相当する学位を得た者。

5. 出願期間

【2017年9月入学】(5月入試) 2017年 4月 1日(土)～ 4月30日(日) (必着)

【2018年4月入学】(5月入試) 2017年 4月 1日(土)～ 4月30日(日) (必着)
(11月入試) 2017年10月 1日(日)～10月31日(火) (必着)

6. 出願書類

Word文書として入力後、印刷して提出してください。手書きで提出する場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。

(※修士課程へ出願する方は、日本語で記入して下さい)

- ① 志願票: 所定用紙
- ② 志望理由および自己アピール書: 所定用紙
- ③ 入学後の研究計画: 所定用紙
- ④ 研究業績報告書(博士後期課程出願者のみ): 所定用紙

- ⑤ 活動実績概要書: 所定用紙
- ⑥ 大学以上の卒業(見込)証明書、学位証明書、成績証明書(原本)
 ・必ず証明書の原本を提出してください。コピーは受理しません。
 ・卒業(修了)見込証明書が発行されない場合は在学証明書を提出してください。
 ・博士後期課程に出願する方は、学部・修士課程両方の各証明書を提出してください。
 ・編入している方は、編入学前の成績証明書も提出してください。
 ・中国の大学を卒業した出願者は卒業証書のコピーも提出してください。
- ⑦ 推薦状: 所定用紙
 所定様式のを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。推薦状は、出願開始日の2年前以降に発行されたもののみ有効になります。推薦状は必ず厳封されたものを提出してください。厳封が無いものは原則無効といたします。また推薦状は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。
- ⑧ 英語能力証明書(TOEIC L&R, TOEFL-iBT または IELTS Academic のスコアシートの原本またはコピー)
 ・出願受付開始日から2年以内に受験したスコアレポートのみ有効
 ・所定のテスト以外の TOEIC IP, TOEIC S&W, TOEIC Bridge, TOEFL ITP, TOEFL PBT, TOEFL CBT, IELTS General Training, 英検、TEP-TEST 等は無効です。
- ⑨ 留学にかかる経費負担計画書: 所定用紙
- ⑩ 学費・生活費支弁能力立証書類
- ⑪ 日本語能力証明書(修士課程へ出願する方のみ、いずれか1点を提出して下さい)
 a. 日本語能力試験1級(またはN1)の成績証明書
 b. 日本留学試験「日本語」の成績証明書
 ※ただし、上記試験を受験していない場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書または所見を提出してください。
- ⑫ 在留資格認定証明書交付申請書: 所定用紙
- ⑬ パスポートのコピー
- ⑭ 任意の提出資料
 以下の資料があれば添付すること。
 ・学術論文、学会講演発表等の抜き刷りならびに各種制作物等の写真やリストなど
 ・各種資格取得証明書、取得特許概要等のコピー
- ⑮ 入学検定料を支払ったことの証明書
 外国送金の場合は外国送金依頼書のコピー、クレジットカード、銀聯カードおよびアリペイの場合は「申込内容照会結果」画面を印刷したものを同封して下さい。

次の所定用紙は、当研究科入試要項・様式ダウンロードページ
<http://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>からダウンロードしてください。

- ① 志願票
 ② 志望理由および自己アピール書
 ③ 入学後の研究計画
 ④ 研究業績報告書(修士課程出願者は提出不要)
 ⑤ 活動実績概要書
 ⑦ 推薦状
 ⑨ 留学にかかる経費負担計画書
 ⑩ 経費支弁書(学費・生活費支払能力立証書類として)
 ⑫ 在留資格認定証明書交付申請書

※Wordで作成する場合は、書式をくずしたりページを増やしたりしないでください。
 記載事項がない場合でも、項目を消さないでください。

出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 出願方法

- ① 出願はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、国際宅配便等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。出願締切日を必着とし、締切日を過ぎて到着した願書は一切受け付けません。
- ③ 送付する封筒の表面に、課程・何月入試の出願かを朱書してください。
例: 外国人特別(9月入学)願書在中 外国人特別(4月入学)願書在中
- ④ 出願書類受理証明書等は発行しません。出願書類が大学に到着しているかどうかは、各自で、トラック番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。

《 出願書類郵送先 》

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

身体機能の障がいや疾病等により、就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。

8. 入学検定料

5,000円

出願に際して検定料5,000円の納入が必要となります。

9. 入学検定料の納入

納入期間は以下のとおりです。

【2017年9月入学】(5月入試) 2017年 4月 1日(土)～ 4月30日(日)

【2018年4月入学】(5月入試) 2017年 4月 1日(土)～ 4月30日(日)
(11月入試) 2017年10月 1日(日)～10月31日(火)

検定料の納入は、出願前に必ず行ってください。検定料を納入していない方の出願は受け付けません。

出願する入試区分(2017年9月入学、2018年4月入学)により、検定料支払期間が異なりますので注意してください。

以下の振込方法のうち、いずれかを選んで振込んでください。

■外国送金による支払

入学検定料 5,000 円に円為替手数料 2,000 円を加算した合計 7,000 円を、次の要領に従って金融機関より送金して下さい。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、7,000 円とは別に窓口で支払って下さい。また、必ず「外国送金依頼書」のコピーを提出書類に同封して下さい。

- 【送金種類(Type)】 電信送金(Telegraphic Transfer)
- 【支払方法(Payment method)】 通知払(Advise and Pay)
- 【振込銀行手数料(Bank Transfer Fee)】 依頼人負担(Payer's Responsibility)
- 【円為替手数料(Lifting Charge)】 受取人負担(Payee's Account)
- 【送金金額(Amount)】 7, 000円(検定料 5,000 円+円為替手数料 2,000 円)
- 【送金目的(Purpose)】 入学検定料(Screening Fee)
- 【連絡事項(Message)】 研究科コード54と、それに続けて志願者本人の英字氏名(54 and Applicant's Name in English)

【送金先】

- 銀行名(Bank name) : 三菱東京 UFJ 銀行(The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.)
- 支店名(Branch) : 江戸川橋支店(Edogawabashi Branch)
- SWIFTコード(Swift code) : BOTKJPJT
- 銀行住所等(Bank address) : 〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13
- 口座番号(Account number) : 0035967FLK
- 受取人名(Beneficiary) : 早稲田大学(Waseda University)

■クレジットカード・中国オンライン決済による支払方法

・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンより「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

□支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、志願票と一緒に提出してください。支払方法の詳細については、10ページの「クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法」を確認してください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

10. 出願書類および入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還しません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科入試係までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

受験要領

1. 選考方法

提出された出願書類を基に合否判定を行います。

合格者発表

①受験者全員に対して、以下の日程で志願票に記載されている志願者現住所宛に「選考結果通知書」を郵送します。

※下記日程の1週間後でも「選考結果通知書」が到着しない場合には、当研究科入試係まで問い合わせてください。

【2017年9月入学】(5月入試) 2017年 5月17日(水)

【2018年4月入学】(5月入試) 2017年 5月17日(水)
(11月入試) 2017年11月21日(火)

②当研究科が、9月入学を認めた当研究科合格者には、2017年9月からの入学を許可します。ただし、2017年9月20日までに入学資格を取得した方に限ります。

③当研究科が、4月入学を認めた当研究科合格者には、2018年4月からの入学を許可します。ただし、2018年3月末日までに入学資格を取得した方に限ります。

入学手続要領

以下は予定です。正式には、合格者に郵送される入学手続書類に従ってください。

1. 入学手続期間

【2017年9月入学】
2017年5月31日(水) (必着)

【2018年4月入学】
2017年12月6日(水) (必着)

- ①手続はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ②封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、国際宅配便等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。
- ③送付する封筒の表面に「外国人特別選考 手続書類在中」と朱書してください。
- ④手続書類受理証明書等は発行しません。手続書類が大学に到着しているかどうかは、各自トラック番号等で確認してください。
- ⑤直接持参は受け付けません。
- ⑥手続完了者には、「入学許可書」を郵送します。

≪手続書類郵送先≫

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

2. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した入学金(登録料)、学費・諸会費(第一期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

3. 学費・諸会費等

当研究科の2017年9月入学者の入学手続に必要な入学金、学費、諸会費等は、以下の通りです。

修士課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	481,000 (入学時)	481,000	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 729,500 春学期 529,500

博士後期課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	353,500 (入学時)	353,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 602,000 春学期 402,000

注意

1. 当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学者の場合、入学金が免除されます。
 2. 上記記載の学費額等は、2017年9月入学者に適用される金額となります。
 3. 実験演習料、諸会費は改定されることがあります。
- 学費等の一覧は以下URLで確認してください。

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

※2018年4月入学者の学費については8月頃決定予定です。

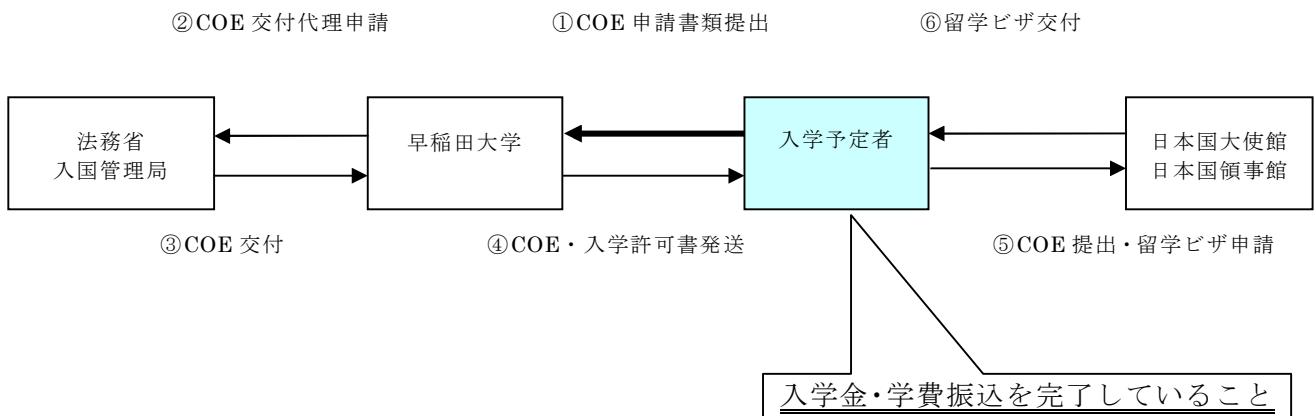
在留資格「留学」の取得について

当研究科への入学を許可された外国人学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、留学生対象奨学金(外国人留学生授業料減免等)申請等各種留学生対象の補助制度を利用することができます。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできませんが、その場合留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。また、「短期滞在」の在留資格で当学に在籍することはできません。

日本の在留資格を有していない場合(日本に居住していない者)

1. 当学への入学を目的として日本に入国するには、まず日本国内の法務省入国管理局に在留資格「留学」の「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。所定の入学手続のうち、入学金・学費の振込が完了した外国籍者について、当研究科事務所(E-mail: weee-gakumu@list.waseda.jp)で代理申請を行います。必要書類を入学手続書類と一緒に、書留便(国際スピード郵便等)で送付してください。必要書類等詳細は、【在留資格認定証明書(COE)の代理申請方法】を参照してください。「在留資格認定証明書」の審査には1~2か月の時間を要しますので、振込締切日にかかわらず、速やかに入学金・学費の振込を済ませ、早めに申請することを推奨します。
2. 「在留資格認定証明書」が交付されたら、申請者にお送りします(日本国外住所に限る)。「在留資格認定証明書」の発行日から3か月以内に、居住国の日本国大使館・領事館でパスポートとともに提示して「留学」ビザ(査証)を取得し、渡日してください。
3. 「在留資格認定証明書」を送付する際、入学許可書もお送りします。
4. 当学が代理申請する在留資格は「留学」です。その他の在留資格を申請する場合は、ご自身で申請を行ってください。

<留学ビザ取得までの流れ(①→⑥)>



【在留資格認定証明書(COE)の代理申請方法】

申請書類送付住所
〒375-0035 埼玉県本庄市西富田 1011
早稲田大環境・エネルギー研究科「在留資格代理申請」係

問い合わせ先
E-mail : weee-gakumu@list.waseda.jp

申請書類送付締切日：入学手続き時に指定する日【郵送必着】※「在留資格認定証明書」の審査には1~2カ月の時間を要しますので、締切日にかかわらず、入学金・学費振込を速やかに完了し、早めに申請することを推奨します。

※書類の様式は、記載されている URL からダウンロードしてください。

<「在留資格認定証明書」の申請に必要な書類>

1. 在留資格認定証明書交付申請書(3枚、写真1枚貼付)

※所定用紙は以下のホームページからダウンロードしてください。

http://www.waseda.jp/fsci/gweee/assets/uploads/2015/07/gaikokujin_tokubetsu_zairyu-1.pdf

※必ず以下ホームページの記入例を参照し、もれなく記入してください。

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/12/coe_application_sample.pdf

2. パスポートのコピー(顔写真のあるページ)

3. 在留中の一切の経費の支弁能力を証する文書

《在留中の経費を本人が負担する場合は、下記のいずれかを提出》

①預金残高証明書の原本(本人口座の証明書、日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること。翻訳公証は必要ありません。)

②奨学金受給証明書の原本(当学入学後に奨学金の受給が決定している方のみ)

《在留中の経費を本人以外(経費支弁者)が負担する場合》

①預金残高証明書の原本(経費支弁者口座の証明書、日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること。翻訳公証は必要ありません)

②奨学金受給証明書の原本(当学入学後に奨学金の受給が決定している方のみ)

③経費支弁書(支弁者が記入。日本語または英語で作成)

[注意]

- 当研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」です。その他の在留資格を申請する場合は、ご自身で法務省入国管理局に申請してください。
- 必要に応じて、法務省入国管理局から追加書類を要求されることがあります。
- 事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書(書式自由)とともに至急「在留資格認定証明書」を当研究科事務所へ返送してください。また、他大学へも合格した場合、「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- 重国籍者で日本国籍を有する場合は、「在留資格認定証明書」を申請できません。
- 在留資格審査は法務省入国管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、当学は一切の責任を負いません。

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK！これが簡単・便利なシンプルスタイル！

クレジットカード・銀聯カード・アリペイを
利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込み／オンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/card/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



当学HP
からも
アクセス
できます！

- | | |
|-----------|---|
| 1. トップページ | お支払い先(大学または大学院)を選択してください。 |
| 2. 学校選択 | 学校一覧から、「早稲田大学・大学院」を選択。 |
| 3. 学校案内 | 注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。 |
| 4. カテゴリ選択 | 第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック |

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※ American Expressの場合は15桁
※ お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カード・アリペイの場合

それぞれの専用画面に推移します。
画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。支払い期間を入学要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カード・アリペイで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

検定料金額	事務手数料
～ 29,999円	555円
30,000円 ～ 49,999円	997円
50,000円 ～ 69,999円	1,420円
70,000円 ～ 99,999円	1,800円
100,000円 ～ 199,999円	2,037円
200,000円 ～ 299,999円	2,571円
300,000円 ～	4,320円

クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

[Screening fee waiver program for applicants from specified countries]

1. 概要／Outline

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

Applicants who wish to be admitted into an undergraduate or graduate school of Waseda University are eligible to apply for a screening fee waiver if they reside in one of the countries designated by Waseda University AND hold nationality of one of those countries.

2. 対象者／Eligibility

次の条件を全て満たす場合。The following conditions must be fulfilled:

1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

* 対象国は下部参照。

* 日本国内に居住する場合は対象外とします。

1) The applicant must reside in one of the countries classified as "Least Developed Countries" or "Other Low Income Countries" in the list of ODA recipients as published by OECD/DAC AND hold nationality of one of those countries (the applicant's country of residence and nationality do not necessarily have to be identical).

* For the list of eligible countries, refer to "Eligible Countries" below.

* Applicants residing in Japan are not eligible.

2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

2) Applicants with dual nationality are only eligible if both nationalities are included in the list of eligible countries described in 1) above.

3. 手続／Procedures

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書（海外送金依頼書のコピーなど）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

When applying to an undergraduate or graduate school of Waseda University, please enclose the following documents with the other application documents instead of the certificate of payment for the screening fee (copy of the remittance form etc.). The application for the screening fee waiver program must be made along with the application for admission. Applications made afterward will not be accepted under any circumstances.

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

1) Application Form for Screening Fee Waiver

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

2) Copy of passport (including all details of the applicant)

* 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

* Applicants who apply for the screening fee waiver program are not required to pay the screening fee. However, if payment was made before the application for the screening fee waiver program, the screening fee will not be reimbursed.

* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

* In the event that the applicant is found to be ineligible for the screening fee waiver program or have made a false claim, the application for admission to Waseda University itself might be revoked immediately.

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、ケニア、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タジキスタン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kenya, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tajikistan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

受験番号 (事務所記入欄 For office use only)

2017 年度 早稲田大学検定料免除措置申請書
Application Form for Screening Fee Waiver, 2017
Waseda University

申請日： 年 月 日
Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other required documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科：

Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying

出願者氏名：

Applicant's Name 姓(Family), 名(Given & Middle)

国 籍 1：

Nationality 1

国 籍 2：

Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所：

Current Address

出願者署名：

Applicant's Signature

印

Seal (if available)

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、ケニア、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タジキスタン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kenya, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tajikistan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

早稲田大学 入学センター 国際アドミッションズ・オフィス
International Admissions Office, Admissions Center, Waseda University

研究指導および担当教員

【研究指導内容】

環境政策科学研究 吉田 徳久

水俣病に始まる半世紀あまりの日本の環境政策の歴史の中には、多くの失敗と成功と、そして進化と後退があった。吉田研究室では環境問題の発生から解決までのこうした行政過程（環境クロニクル）を多面的に追跡しながら、環境政策と環境科学の論理と手法を読み解くことを目指す。その上に立って、これからの環境政策のよりよい展開のあり方を提案していく。対象にする環境政策の範囲は、公害防止、有害化学物質の安全管理、循環型社会形成、地球温暖化防止やエネルギー政策、環境意識とマスコミ報道など幅広い。

環境・新エネルギー研究 勝田 正文

世界的なエネルギー需要の拡大に伴う供給の逼迫と自然災害による供給の障害それに伴う地球温暖化問題を背景に、多くのエネルギー関連研究が国内外で展開されている。本研究では、このような背景を直視して、「エネルギー資源と環境の制約」を視野に入れつつ、現状の生活や生産基盤を維持しながらエネルギー面における循環社会の構築を目指す。本研究指導では、伝熱工学を基盤として省エネルギー、新エネルギー、再生可能エネルギーの高度化、高効率利用化を目標に、学生自身が課題の抽出から、研究計画、研究の実施、問題解決法の探索、研究の成果公表まで、一連のプロセスを体験し、修士論文計画としてまとめる。各フェーズにおいて、環境へのインパクトを十分配慮することはもとより評価法などにも言及し、目的とする成果に到達できるように助言・指導する。

環境調和システム機器研究 関谷 弘志

地球環境問題やエネルギー問題への対応が急務とされる昨今、今後の持続的な人間社会の発展ならびに自然環境の維持・再生のためには、環境負荷低減に寄与する環境調和システム機器の研究開発が益々重要となっている。

これらの諸問題の解決策の一助として、外燃機関や自然冷媒を用いたシステム機器に着目し、その研究開発ならびに最適設計手法の構築を目指すとともに、省エネルギー・クリーンエネルギーに適した次世代分散発電、コージェネレーションおよび高性能冷凍空調への応用を試みる。また、同システム機器を核とする再生可能・未利用エネルギーの最適活用や廃熱利用についても研究を実施する。

本研究指導においては、環境調和システム機器に関する研究課題の抽出から一連の修士・博士論文研究について助言・指導を行う。

エネルギー・環境政策研究 友成 真一

エネルギー・環境問題は、広範な学問領域をカバーする、総合的な社会問題である。エネルギー・環境問題を政策的に捉えようとする場合、表の論理と裏の論理を立て分けて整理する必要がある。本研究指導では、エネルギー・環境政策の本質をえぐる目を養い、政策のもつ技術的、経済的、社会的、国際的、外交的側面に留意しつつ、各国にとって真に意味のあるエネルギー・環境政策を探求することを目的とする。

環境・エネルギーネットワークシステム研究 中西要祐

産業及び経済の持続的な発展のためには電力をはじめとするエネルギーネットワークシステムの形成が不可欠だが、これらは膨大なエネルギーの変換と輸送を伴うことから環境への影響も大きく、システムの効率化と環境保全対策の立案が重要課題である。ここでは、1. エネルギーの発生、輸送、配分、消費に係わるシステム技術、環境問題とその解決技術、2. 環境・エネルギーシステムの最適化、運用制御、経済及び環境影響評価、3. 構成要素の動特性モデリング及びシミュレーション解析といった工学的手段の習得を目的とする。

環境・パワーシステム研究 草鹿 仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり、近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は、このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

環境・エクセルギー工学研究 中垣隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
 - ・二酸化炭素分離回収固定化技術(CCS)
 - ・化学、電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究
 - ・燃料電池、リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発
- 俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

環境システム評価研究 納富 信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果を、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

環境・電気エネルギー研究 紙屋雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等)を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリー」とバッテリーへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類(バッテリー、モータ、充電システム等)の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリー・充電問題」に対処していく。

環境配慮エネルギー・循環システム研究 小野田 弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭においた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス利活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

環境・エンジン制御研究 福間 隆雄・草鹿 仁

本研究指導では、自動車用エンジンの吸気系、燃焼システム、排出ガス浄化触媒の機能を最大限に発揮するための制御手法を研究する。このため、構成要素をモデル化し、統合モデルを構築するとともに、同モデルを用いて各種運転パラメーターがエンジンの動力性能、排気性能に及ぼす影響因子を詳細に調査する。また、運転パラメータの最適制御手法についても検討を行う。このように机上で検討された制御手法を実機において検証し、モデルの修正をしながら高精度の予測モデルを構築することで突破力のある開発エンジニアを養成する。

早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

以上

早稲田大学大学院
環境・エネルギー研究科 入試係

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011

TEL 0495-24-6480,
E-mail weee-ent@list.waseda.jp

〈事務取扱時間:月～金 9時～17時〉

お問い合わせ・連絡は、E-mailでお願いいたします。